



# Whale Dynamicへの総額3-4億円の製品ライセンス販売を含む 資本業務提携に向けた基本合意書締結についての説明資料

---

2023年9月20日

Eyes to the all machines

## Kudan技術の市場投入を先行してきたWhale Dynamic社（以下WD社） に対して3~4億円の製品ライセンス契約を締結する方針



- Kudan初の顧客製品化となったWD社から、まずマッピング（車載）とロボット（屋外走行車両）の提供が開始（22年7月）
- 中国市場での実績が伸長する中、グローバル拡販に向けた需要喚起が進んでおり、さらに自動運転（一般乗用車）向けへの製品拡大の見通しも高まっている
- これにより、WD社製品の拡販を見込んでおり、相応するKudan技術の製品ライセンス契約3-4億円を締結する方針となった（今期来期で総額3-4億円の売上計上見込み）
- 加えて、WD社のグローバルへの地域展開と、自動運転への製品展開を加速するため、Kudanから5億円の出資を行い、WD社製品とKudan技術の普及を推し進める

whale dynamic

惠尔智能



- レベル4・5相当の独自技術をベースに、自律走行ロボット・自動運転向けに幅広く開発・製品展開
- 急進的な中国市場のみならず、世界市場に向けた事業も広く展開

## 創業経営者 (David Chang)

- 中国大手IT百度(バイドゥ)が手がける国内最大の自動運転プロジェクト「Apollo」の上級製品統括者として開発を主導。英ケンブリッジ大修士

## グローバル 展開

- 自動運転の世界的オープンソースエコシステムである「Apollo」と「Autoware」の双方に加盟する世界唯一の企業

## 顧客・ パートナー



- WD社によるKudan技術の製品化を22年7月に実現し、製品導入を進行中

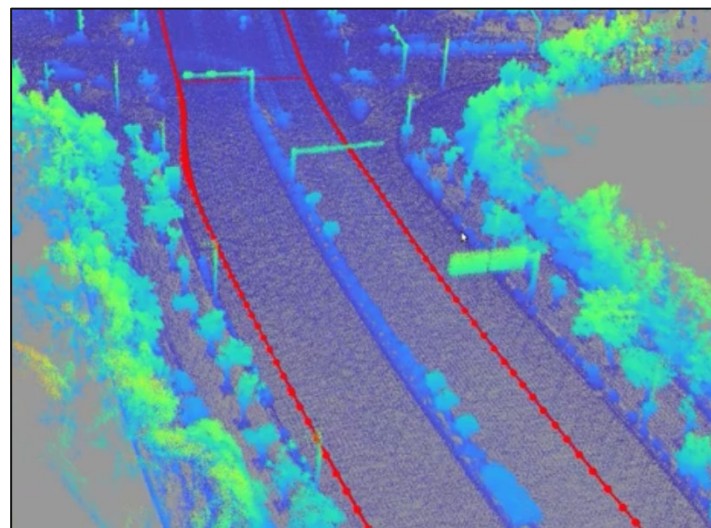
**whale dynamic**

- 公道向けマッピング（車載）とロボット（自律走行車両）を提供\*



**kudan**

- 自己位置推定と高精度マップ作成のためのSLAM技術を提供
- Lidar SLAMとVisual SLAMの統合に関わる独自技術による高性能化を実現

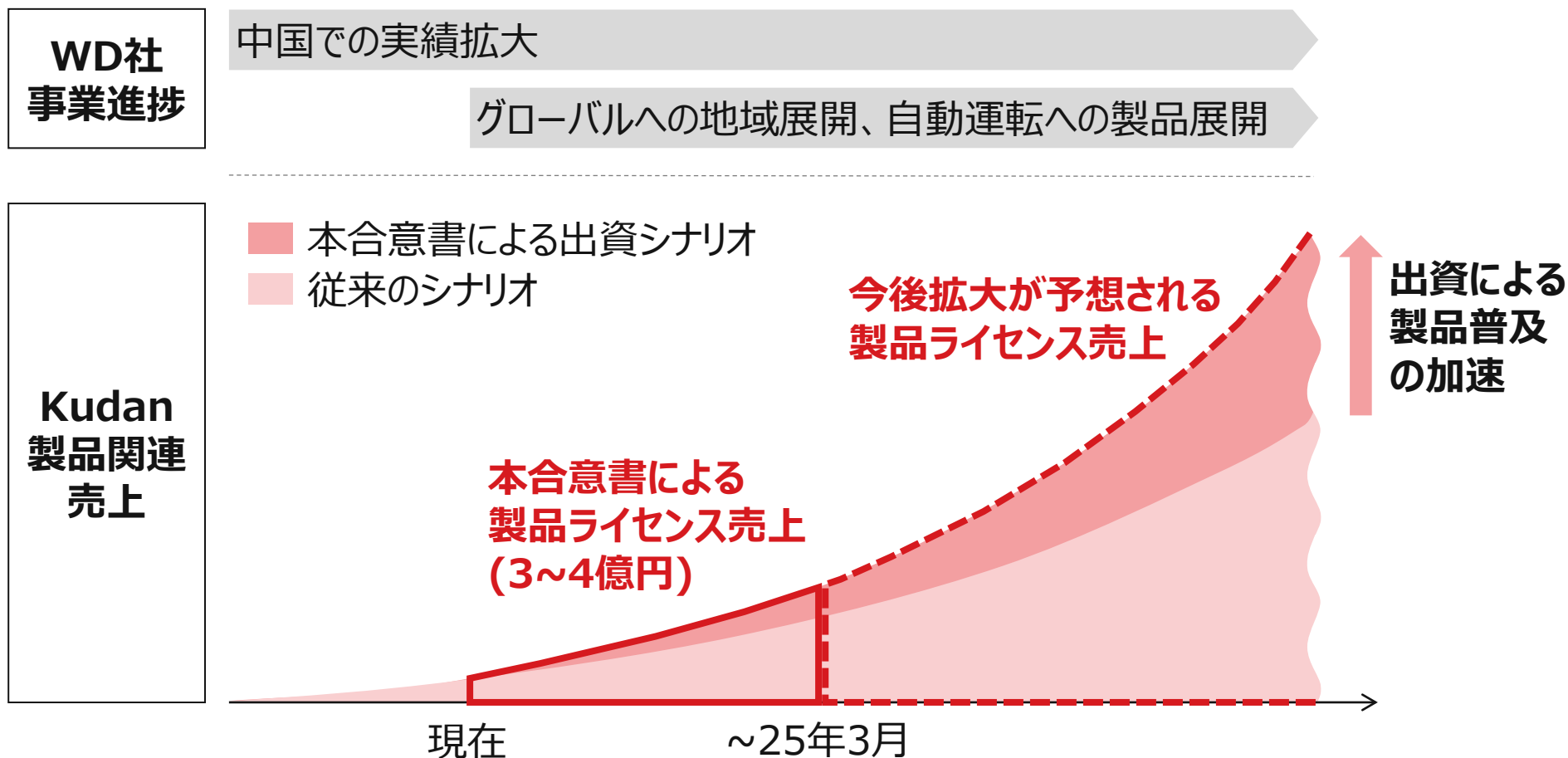


×

[\*] [マッピング（車載）とロボット（自律走行車両）に関する技術のデモ動画URL](#)

# Whale Dynamic社との資本業務提携について

- WD社の販売拡大に合わせ、今期来期にかけて製品ライセンス契約を計3~4億円締結方針
- 加えて、グローバルへの地域展開と自動運転への製品展開を含む成長資金5億円をKudanから出資し、WD社製品の普及を加速し、製品ライセンス売上の上乗せと継続的拡大を目指す



- 地域と製品の2軸での事業拡大に対し、Kudanも営業・開発・サポートで協業
- 自動運転への製品展開は、Kudanとしても更なる顧客製品領域の拡大となり、大きな成長機会

## Whale Dynamic社の事業展開に関わるKudanとの協業

### 中国での 実績拡大

- 中国最大の自動運転プロジェクト「Baidu Apollo」の中心メンバー企業として、官民にわたり多数の実証案件を展開
- 世界的に見ても、自動運転に対して急進的である中国市場にて先端的な実績を積み重ねている

### グローバルへの 地域展開

- グローバルでも市場需要は喚起されており、欧州や中東を中心に案件の獲得が進行中
- Kudanとも協業し、共同でのグローバル向けのマーケティング・案件開発・サポートを行なっていく

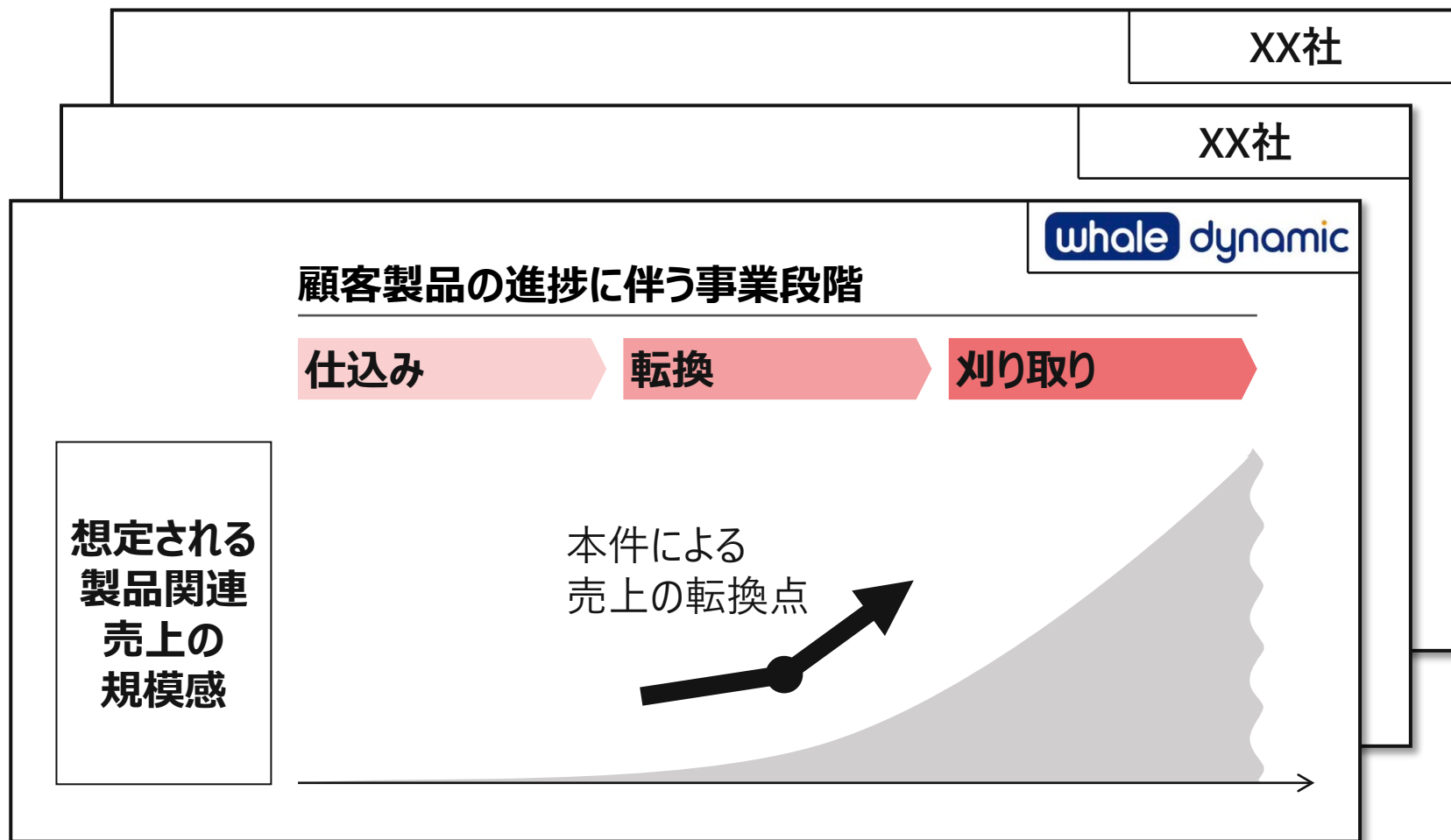
### 自動運転への 製品展開

- これまでのマッピング（車載）やロボット（自律走行車両）から、一般乗用車の自動運転への製品拡大を行い、Kudan技術の応用についても共同で開発する予定

今後協業を加速する領域

# 今後の製品関連売上の成長

- Whale Dynamic社を皮切りに、顧客製品化した各案件において、同様にパートナーと事業段階の転換を進めていくことで、製品関連売上の拡大を目指していく



- 本資料は、当社の事業および業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性がつきまとっています。
- すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。
- 当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2023年9月20日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではございません。